

課題番号11

## 新たな担い手による経営の確立と地域活性化

～ 新たな仲間と地域を守ろう ～

対象：栗山町日出地区（15戸）

### 1 活動の背景

- (1) 日の出地域：平均経営面積約4.9ha  
個人経営は施設園芸（トマト、アスパラガス、メロンなど）が中心。
- (2) 経営主平均年齢は58歳、15戸中新規参入者が6戸、後継者有りは1戸。
- (3) 地域の農地を守ることを目的に、2戸による協業法人が令和2年に設立。
- (4) 山間地にあるため作物の鳥獣被害が多く、シカ柵の管理体制も不十分。
- (5) 地域の課題：新規参入者・新設法人の経営安定化と定着、条件不利地の透排水対策、シカ等による農作物被害の軽減、シカ柵管理体制の整備。

### 2 活動の経過

#### 新規参入者の定着

##### 栽培管理技術の定着・向上

- ・ 収量・品質の向上へ向け、病虫害適期防除及び生育に応じた肥培管理に焦点を当てて支援。
- ・ 個別巡回、冬季研修会、個別面談を実施。
- ・ 粘着板を利用した害虫発生予察、土壌診断や葉柄硝酸濃度測定を行い、栽培管理について支援を実施。

##### 新規参入者向け「日出生活のてびき」の発行

- ・ 新規参入者の不安解消のため、日出地区の生活に関すること（神社やお葬式、地域の役員など）をまとめた冊子を発行。
- ・ 掲載項目は参入者へ、説明は関係機関等への聞き取りで内容を作成。



#### 新規法人の営農体制の構築

##### 小麦の安定生産

- ・ 排水対策、適期は種、適正施肥、土壌pH改善、雑草対策について支援。

##### 水稲省力化栽培の導入

- ・ 密播中苗栽培の育苗管理など7項目について、情報提供・技術支援を実施。

#### 有害鳥獣対策への意識向上と実践

- ・ 被害実態・被害防止対策について、巡回時に聞き取り。
- ・ 検討会で被害と対策の情報共有、研修会で被害防止対策の研修を実施。

### 3 成果の具体的内容

#### 新規参入者の定着

農業者名(就農年度)			A (H26)	B (H29)	C (H31)	D (R3)	P (H27)	Q (R4)
主な作付け品目			きゅうり アスパラガス	メロン かぼちゃ	業務用トマト アスパラガス	業務用トマト アスパラガス 小麦	業務用トマト ブロッコリー アスパラガス	大玉トマト ながねぎ
目標事項と 取り組み 結果	病虫害適期防除	ホリパーに よる 発生予察	○	○	○	○	○	○
		病害計画防除	○	○	○	○	△	○
	トマトの生育に応じた 肥培管理(追肥・かん水の増減)				○	○	△	×
総合評価			○	○	○	○	△	△

※評価方法 病虫害適期防除、生育に応じた肥培管理 ○:実施 △:一部実施 ×:未実施  
総合評価 ○:目標達成 △:目標やや達成 ×:目標未達成

目標事項には  
ほぼ取り組むこ  
とができた

作柄は概  
ね良好

冬季研修会は  
受講者の満足  
度が高かった



「日出生活のて  
びき」を作成し  
農業者等へ配布



#### 新規法人の営農体制の構築

##### 小麦の安定生産

実践項目を全て実施し、収  
量は前年比60%増

しかし、土壌 pH、雑草  
管理に依然問題が...

R5年産は土壌 pH改善、  
雑草防除に取り組む

##### 水稻省力化栽培の導入

実践項目7項目の  
うち5項目を実施

今年度地域の水田6haの受入は密  
播中苗栽培の導入で順調に進んだ

管理の流れは掴めたけど収  
量・品質はまだ不安定



#### 有害鳥獣対策への意識向上と実践

被害対策の検討回数  
R3 1回 → R4 3回

検討会で被害状況、  
実施対策を情報共有

研修会で被害防  
止対策を学習



### 4 今後の課題と対応

#### 新規参入者に対する支援

- ・ 収量・品質向上へ向け病虫害防除や施肥法改善の支援を継続する。
- ・ 関係機関と連携し、個別巡回・研修会を通して支援を継続する。
- ・ 「日出生活のてびき」は冊子の配布をもって終了する。

#### 法人に対する支援

- ・ 小麦は「土壌 pH改善」「雑草適期防除」に重点を置き生産性向上を支援する。
- ・ 水稻は密播中苗栽培の継続的な取り組みと安定生産へ向けた支援を行う。

#### 鳥獣害被害について

- ・ 農業者自らが取り組むことの出来る対策について支援する。